

小沢一郎事件年表

Ver 1.0

平成21年

◀ 検察 ▶ 審査会 ▶ 政治

- ◀ 1/14 1億円の裏金を海外から持ちかえたと外為法違反で西松建設の元海外担当副社長らが逮捕される。
- ◀ 3/3 小沢一郎の大久保隆規第一秘書、西松建設社長と幹部が西松建設からの偽装献金を理由に政治資金規正法違反で逮捕(「西松建設事件」)。
 - ▶ 3/5 漆間巖官房副長官が記者団との懇談の席でオフレコで「自民側は立件出来ない」と語りそれが報道される。
- ◀ 3/12 小沢一郎の元秘書の石川知裕衆議院議員を参考人聴取。
- ◀ 3/24 政治資金規正法違反で大久保秘書と西松建設社長を起訴。
 - ▶ 9/16 鳩山内閣誕生、小沢幹事長。
 - ▶ 9/25 小沢事案1回目審査員の21年第4群の選定。
- ◀ 11/4 小沢一郎秘書3人に対して陸山会が東京都世田谷の土地を16年に購入した際に政治収支報告書に虚偽記載したとして、市民団体(世論を正す会:実体は不明)が政治資金規正法違反容疑で告発。
 - ▶ 12/下旬 小沢事案1回目審査員(2回目の一部(22年7月のみ)も担当)の22年第1群の選定。

22年5月18日の上杉隆のニュースの真相で平野元参議院議員が、5月13日に数人の財界人から呼ばれ話をした際に、酒の席で「大久保逮捕は自分が指示してやらせた」と森大臣が言ったという話をその財界人の一人から聞いたと暴露。

平成22年

「真実を求める会」の代表者は山際澄夫と言われる。元産経新聞記者でジャーナリスト。著書に「安部晋三物語」がある。

- ◀ 1/15・16 「陸山会」の土地購入経緯を巡る陸山会事件で政治資金規正法違反(虚偽記入)容疑で3人の秘書を逮捕(「陸山会事件」)。
- ◀ 1/21 市民団体(真実を求める会)が陸山会の土地購入で小沢氏を告発。
- ◀ 1/23 小沢幹事長の事情聴取。
 - ▶ 事情聴取を要請→小沢氏、聴取を受け入れ→「真実を求める会」が小沢氏を刑事告発→検察、小沢氏を「被告発人」として聴取。(真実を求める会と検察の連携プレーと言われる)。
- ▶ 1/27 TBS「朝ズバ」が水谷建設による石川議員への裏金5000万円の受け渡しを「目撃した男性が核心証言」と報道。しかし、すぐその後、証言のいかかわしさが露見、スクープは捏造ではないかと非難されるがTBSは無視。
- ◀ 2/4 「陸山会事件」で秘書3人を起訴、小沢一郎氏については嫌疑不十分で不起訴とした。
 - ▶ 2/12 小沢氏の不起訴処分に対する市民団体(真実を求める会)の不服申立て受理。
 - ▶ 3/9 小沢案件1回目審査開始。
 - ▶ 審査補助員:米澤敏雄。東京弁護士会所属。
 - ▶ 3/26 小沢事案2回目審査員の22年第2群を選定。
 - ▶ 4/13 民主党による「事業仕分け」で、法務省所管の「事前調査」が行われ、社団法人「民法法情報センター」の元最高裁判事の香川保一理事長の金銭スキャンダルが発覚。
 - ▶ 4/27 1回目起訴相当議決。
 - ▶ 仙石官房長官(第二東京弁護士会、全友会に所属)がスキャンダルをもみ消し、最高裁に大きな貸しを作ったと言われる。
 - ▶ 5/8 社団法人「民法法情報センター」が解散。
 - ◀ 5/21 1回目の起訴議決を受けたが検察は小沢氏を嫌疑不十分で再度不起訴に。
 - ▶ 5/21 市民団体(真実を求める会)が小沢氏の不起訴処分に再度不服申立て受理。
 - ▶ 6/25 小沢事案2回目審査員の22年第3群を選定。
 - ▶ 7/8 東京第一検察審査会で小沢氏の別案件が不起訴不当に。
 - ▶ 7/13 第2回目の審査開始。
 - ▶ 審査補助員:吉田繁實。第二東京弁護士会所属。
 - ▶ 9/14 2回目起訴相当議決。
 - ▶ 9/14 民主党代表選挙で菅氏が小沢氏を破り再選、幹事長 岡田克也。
 - ▶ 10/4 議決書署名。